

## 免許状更新講習時間割について

令和2年8月12日(水)

中学校・高等学校国語科教諭対象:「日本語表現の諸相」

<b>概要</b>	日本文学(近世ならびに近現代文学)を題材に、国語科教育の基盤となる日本語表現の諸相について考えます。最新の研究成果を交えながら文学作品の表現とその背景にある歴史的事象や人間存在との関係性を考察し、教材研究力の向上を図ることを目標とします。
<b>講師</b>	小林 敦子(就実大学人文科学部表現文化学科准教授)、丸井 貴史(同講師)、坂 堅太(同講師)

日本語表現の諸相		
時間	講義名	担当
09:00~10:00	近世文学の表現と「古典」1	丸井 貴史
10:10~11:10	近世文学の表現と「古典」2(含試験)	
11:20~12:20	近代文学の表現とその背景1	小林 敦子
13:20~14:20	近代文学の表現とその背景2(含試験)	
14:30~15:30	現代文学の表現とその背景1	坂 堅太
15:40~16:40	現代文学の表現とその背景2(含試験)	

令和2年8月12日(水)

中学校・高等学校英語科教諭対象:「発信力を高める方法論と授業実践」

<b>概要</b>	学習指導要領の改訂により外国語科目では、発信型の英語能力の一層の向上が求められています。この講習においては生徒のプレゼンテーション能力向上のための授業の準備、運営、評価、および CLT (Communicative Language Teaching) を利用した授業づくりについて、受講者のワークショップを中心に講習を行っていきます。
<b>講師</b>	ローレンス・ダンテ(就実大学人文科学部実践英語学科教授)、小山 敬一(同教授)、デイヴィッド・タウンゼンド(同准教授)

発信力を高める方法論と授業実践		
時間	講義名	担当
09:00~10:00	プレゼンテーション能力育成をめざす 授業の準備と評価1	小山 敬一
10:10~11:10	プレゼンテーション能力育成をめざす 授業の準備と評価2(含試験)	
11:20~12:20	プレゼンテーションを利用した授業活動1	ローレンス・ダンテ
13:20~14:20	プレゼンテーションを利用した授業活動2(含試験)	
14:30~15:30	コミュニケーション・ランゲージ・ティーチング(CLT)を 利用した授業づくり1	デイヴィッド・タウンゼンド
15:40~16:40	コミュニケーション・ランゲージ・ティーチング(CLT)を 利用した授業づくり2(含試験)	

令和2年8月12日(水)

中学校社会科教諭・高等学校地理歴史科教諭対象:「地理・歴史の資料を読む」

<b>概要</b>	地理学・歴史学における実地の資料に触れ、その教材化やグループワークなどの素材を開発できるような授業を展開します。授業内では、資料の読解など具体的な作業を導入します。
<b>講師</b>	吉本 勇(就実大学人文科学部総合歴史学科教授)、苅米 一志(同教授)、渡邊 将智(同准教授)

地理・歴史の資料を読む		
時間	講義名	担当
09:00~10:00	地理の資料を読む(1)	吉本 勇
10:10~11:10	地理の資料を読む(2)(含試験)	
11:20~12:20	アジア史の資料を読む(1)	渡邊 将智
13:20~14:20	アジア史の資料を読む(2)(含試験)	
14:30~15:30	日本史の資料を読む(1)	苅米 一志
15:40~16:40	日本史の資料を読む(2)(含試験)	

令和2年8月12日(水)

小学校教諭対象:「新学習指導要領が求める社会科・算数科の授業づくり」

<b>概要</b>	本講座の前半では、社会科における防災学習(4・5年生)として、「学校防災・減災のためのアクティブ・ラーニング」を行います。西日本豪雨災害の実態を踏まえつつ、自身の地域のハザードの検索・検討を基に、避難地図やマイ・タイムラインの作成に取り組みます。
<b>要点</b>	後半では、具体的な実践事例を基に、新学習指導要領が目指す主体的・対話的で深い学びを実現する算数の授業について考えます。
<b>講師</b>	楠 博文(就実大学教育学部初等教育学科准教授)、長田 健一(同講師)

新学習指導要領が求める社会科・算数科の授業づくり		
時間	講義名	担当
09:00~10:30	学校防災・減災のためのアクティブ・ラーニング 1:西日本豪雨の教訓とハザードの検討	長田 健一
10:40~12:10	学校防災・減災のためのアクティブ・ラーニング 2:避難地図、マイ・タイムラインの作成(含試験)	
13:10~14:40	主体的・対話的で深い学びを実現する 算数科の授業づくり1	楠 博文
14:50~16:20	主体的・対話的で深い学びを実現する 算数科の授業づくり2(含試験)	

令和2年8月12日(水)

特別支援学校教諭対象:「特別支援学校における ICT 活用 –ここまで使える PowerPoint–」

概	<p>学習指導要領が改定され、特別支援教育の領域においても一層 ICT 機器の活用が強調されるようになりました。しかし、授業の中で児童・生徒に使わせてみたい、自分で教材の開発をしたいとお考えの場合、実はどうすれば良いかわからない場合が多いのではないかと思います。今回は、皆さんが日々使われている PowerPoint と iPad を授業の中で活用する方法を考えていきたいと思います。</p> <p>※学校や家庭で使われている iPad が持参できる先生は、お持ち下さい。本学からお貸しできる iPad の台数には限りがあります。参加者数によっては、学内保有の iPad が足りなくなる可能性があります。ご協力よろしく願いいたします。持参いただく場合は、PowerPoint が使えることをご確認ください。</p> <p>※マイクロソフトアカウントを利用可能な方は、ID・パスワードをご持参ください。マイクロソフトアカウントが利用可能ではない方は、PC で使用できるメールアドレスをご用意ください。</p>
要	<p>※当日、学内の Wi-Fi が利用可能です。</p>
講師	<p>岡田 信吾(就実大学教育学部初等教育学科教授)</p>

特別支援学校における ICT 活用 –ここまで使える PowerPoint–		
時間	講義名	担当
09:00~10:30	特別支援教育と ICT 利用 特別支援教育における iPad の活用	岡田 信吾
10:40~12:10	PowerPoint を使った教材作成 1	
13:10~14:40	PowerPoint を使った教材作成 2	
14:50~16:20	作成教材の紹介(含試験)	

令和2年8月12日(水)

養護教諭 中学校・高等学校保健体育科教諭対象:「子どもと教員の心身の健康課題」

<b>概要</b>	①薬物乱用やドーピングなどの薬物摂取による健康被害についての話題を取り上げながら、子どもたちの健康問題について考えます。②教科指導や生徒指導に携わる中で生じる教員のストレスやメンタルヘルスの問題に触れながら、これらの問題の対策について考えます。
<b>講師</b>	森 宏樹(就実大学教育学部教育心理学科教授)、堀田 裕司(同講師)

子どもと教員の心身の健康課題		
時間	講義名	担当
09:00~10:30	ストレスとメンタルヘルス 1	堀田 裕司
10:40~12:10	ストレスとメンタルヘルス 2(含試験)	
13:10~14:40	薬物摂取による健康被害 1	森 宏樹
14:50~16:20	薬物摂取による健康被害 2(含試験)	

令和2年8月24日(月)

幼稚園教諭対象:

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「保育者の気付き」と「幼児の運動遊び」

概	本講座では、講義と実技演習を通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から保育のあり方を学びます。 前半は「保育者の気付き」をキーワードに、保育者のあり方を考えます。自分の気付き体験の振り返りやグループワークを通して新たな枠組みでの気付きへ繋げます。見通しを持った保育実践を目指します。 後半は幼児期の運動遊びの重要性と指導法について、講義と実技を通して再考します。健康のねらいである「進んで運動しようとする」幼児の育成を目指します。 ※講習当日は「幼稚園教育要領」または「幼稚園教育要領解説」(平成30年)、運動のできる服装、屋内シューズ、必要であれば飲み物をご持参ください。
講師	吉田 満穂(武蔵大学教育学部知能教育学科教授) 飯田 知行(同准教授)

## 中止となりました

時間	講義名	担当
09:00~10:30	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「保育者の気付き」①	吉田 満穂
10:40~12:10	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「保育者の気付き」②(含試験)	
13:10~14:40	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「幼児の運動遊び」①	飯田 知行
14:50~16:20	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「幼児の運動遊び」②(含試験)	

令和2年8月24日(月)

幼稚園教諭対象:

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「保育者の気付き」と「幼児の造形表現」

<b>概</b>	本講座では、講義と実技演習を通して「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」から保育のあり方を学びます。 前半は「保育者の気付き」をキーワードに、保育者のあり方を考えます。自分の気付き体験の振り返りやグループワークを通して新たな枠組みでの気付きへ繋がります。見通しを持った保育実践を目指します。 後半は幼児期の発達過程を踏まえ、幼児の造形活動において育てたい「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」及び「表現」の視点を再考します。なお、後半には実技の内容も含まれます。
<b>要</b>	※講習当日は「幼稚園教育要領」または「幼稚園教育要領解説」(平成30年)、ハサミ、ホチキス、牛乳パック(1ℓサイズで切り開いていないもの)3個をご持参ください。
<b>講師</b>	吉田 満穂(就実大学教育学部初等教育学科教授)、藤田 知里(同准教授)

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「保育者の気付き」と「幼児の造形表現」		
時間	講義名	担当
09:00~10:30	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「保育者の気付き」①	吉田 満穂
10:40~12:10	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「保育者の気付き」②(含試験)	
13:10~14:40	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「幼児の造形表現」①	藤田 知里
14:50~16:20	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から考える「幼児の造形表現」②(含試験)	



令和2年8月24日(月)

小学校教諭対象:「子供が熱中する、理科・国語の授業作り」

<b>概</b>	本講座の前半では、教師自身が理科を好きになることを第一義的目標とし、楽しい実験やものづくりを体験してもらいます。また、問題解決的な授業の流れを概観し、どのようにすれば子どもの科学概念を再構成することができるか考えていきます。
<b>要</b>	後半では、文学的文章、説明的文章のそれぞれについて、どのような読む力を身につけさせるのかをはっきりと意識した授業を子ども役になって受けてもらい、その後に、担当講師が授業づくりの基本的な意図と手順を解説します。さらに、それをふまえて実際に教材を用いて授業展開を考え、アイデアを交流してもらいます。
<b>講師</b>	福井 広和(就実大学教育学部初等教育学科教授)、丹生 裕一(同教授)

子供が熱中する、理科・国語の授業作り		
時間	講義名	担当
09:00~10:00	子供が熱中する理科の授業作り1	福井 広和
10:10~11:10	子供が熱中する理科の授業作り2	
11:20~12:20	子供が熱中する理科の授業作り3(含試験)	
13:20~14:20	子供が熱中する国語の授業作り1	丹生 裕一
14:30~15:30	子供が熱中する国語の授業作り2	
15:40~16:40	子供が熱中する国語の授業作り3(含試験)	